

ハタラク

HATARAKU vol.06

これから就職を考える高校生みなさんに働く素晴らしさを伝えるシリーズ企画。



働いて、楽しい!

▶ PUSH START BUTTON

釧路の街で、ハタラク!

家をつくる、ビルをつくる、橋をつくる、道路をつくる。この街をつくるのは職人さんです。そんな建設・土木業界で働く若者たちにスポットを当て、働くことについてインタビューしました。

今回は(株)残間金属工業の大澤 凌さんです。



PROFILE

おおさわ りょう

大澤 凌さん(21さい) / (株)残間金属工業

釧路工業高校電子機械科に在学中、授業をキッカケに溶接に興味を持ち残間金属工業に就職。商業施設や学校の鉄骨部分の溶接を行うなど様々な経験を積み、溶接職人として一人前になるため日々奮闘中。溶接技術検定(基本級(タテ)、専門級(ヨコ))を取得。



Q.01

建築の道に進んだキッカケは？
また仕事の魅力はなんですか？

釧路工業高校の電子機械科の授業で、2つの金属に熱や圧を加えて結合させる「溶接」という技術を習い「面白い!」と興味を持ったのがキッカケ。入社面接では「とにかく溶接がしたいです」とアピールしました(笑)。溶接は技術職なので、職人さんの腕の良さ・悪さがはっきりと表れます。材料の厚みによって溶接の難易度も変わりますが、難易度の高い溶接が上手にできたときは達成感がありますね。そこが溶接の魅力かなと思います。

Q.02

苦勞を感じるのは
どんな時？

今後の目標も教えてください

溶接は結構シビアな技術で、5ミリ違うと建物が建たないという世界。熱の温度によって金属が曲がったりするので細かい技術が必要で、かなり頭を悩ませます。また肉体的労働なので、腰や肩が痛くなるので大変。でも自分のペースをつかんだら、体の負担も減った気がします。今後は『AW検定』という溶接技能検定に合格したいですね。また『北海道地区溶接技能競技会』で優勝もしたい! それまでに技術がもっと向上するよう、たくさん経験を積んでいきます!

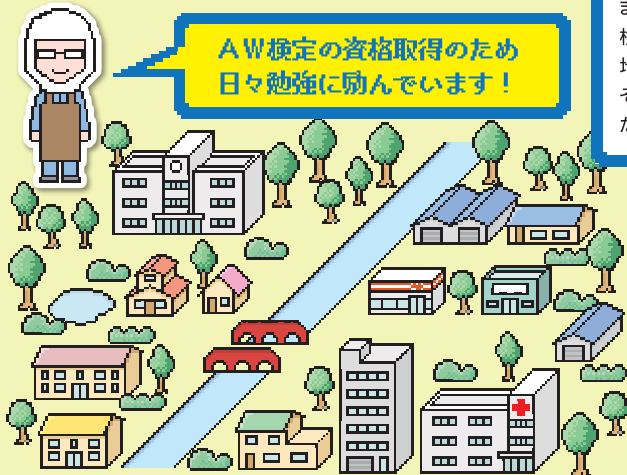
▶ My 装備品



自動遮光ヘルメット

金属を溶接する際に出る火花の光から目をガードしてくれます。光を見た瞬間にパッと自動的に遮光してくれるスグレモノ! 煙からも守ってくれるので助かっています。

AW検定の資格取得のため
日々勉強に励んでいます!



インタビューの内容は、只今制作中のWEBサイト又はPR冊子にてご覧いただけます!

職業訓練法人 釧路地方職業能力開発協会

釧路市鳥取南7丁目2-20 / Tel.0154-52-1150

釧路地域職業訓練センター内

プロモーションサイト <http://www.hatara946.com>

※釧路市受託事業 若年者向け建設業魅力向上PR事業

